



「会計情報の活用」 学習指導案

●単元の指導計画

①単元名

中学校社会（公民的分野）内容B「私たちと経済」の「(1)市場の働きと経済」より、

「企業の経済活動における役割と責任」

②単元のねらい

- 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。
- 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質について理解する。
- 企業の経済活動における役割と責任について、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。

③単元の指導計画

本単元を貫く問い「企業の役割と責任とは何だろう」

時限	学習内容
第1時	株式会社の仕組みと労働基本法について理解する
第2時	「模擬企業づくりーラーメン店を起業しようー」のアイデアをグループで出し合う
第3・4時	前時に出したアイデアを元に、ラーメン店を起業する際の企画書を作成する 事業内容、必要とする資金の概算と調達方法、従業員の待遇などを考える
第5時	「資金調達と従業員募集のための説明会」形式の発表に向けて、発表用の原稿や資料を作成する
第6時	「資金調達と従業員募集のための説明会」を実施し、どの企業に出資したいか、どの企業に就職したいかを問う投票を行う
第7時（本時）	「模擬企業づくりーラーメン店を起業しようー」を振り返り、金融が果たす役割について理解する ※会計に関する学習は、主としてこの時間に行う
第8時	企業の役割と責任、会計情報の提供や活用の意義について、学習を通して理解したことを個人レポートに記述する

●本時のねらい

- 利害関係者への適正な会計情報の提供及び提供された会計情報の活用が求められていること、これらの会計情報の提供や活用により、公正な環境の下での法令等に則った財やサービスの創造が確保される仕組みとなっていることを理解する。
- 家計の貯蓄などが企業の生産活動や起業、人々の生活のための資金などとして円滑に循環するために、間接金融と直接金融があることを扱い、金融の仕組みや働きを理解する。

●評価規準

- 会計情報の提供や活用の意義について理解している。
- 直接金融と間接金融について理解している。

●本時の流れ

	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入	本時の学習内容について見通しを立てる	<ul style="list-style-type: none"> ■「本時の学習内容について理解する」 • 本時の学習内容を確認し、学習の見通しを立てる 	<ul style="list-style-type: none"> • 第5時に作成した資料「企業づくり計画書」や第6時での学習を振り返りながら、金融、会計情報の提供の重要性について学習することを伝える
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 主発問：「模擬企業づくりラーメン店を起業しよう」を振り返り、金融がどのような役割を果たしているか考えよう </div>		
	金融とは何か理解する	<ul style="list-style-type: none"> ■「金融とは何か考えよう」 • 「金融」の仕組みと意義に関する記述を教科書本文から抜き出し、金融の仕組みと意義について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> • 金融とは、お金が余っている家計や企業から、お金を必要としている家計や企業に対してお金を融通する仕組みであることを理解させる
	直接金融と間接金融について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ■「直接金融と間接金融について考えよう」 • 直接金融と間接金融について、「模擬企業づくりラーメン店を起業しよう」を振り返り、理解する 	<ul style="list-style-type: none"> • 金融には株式や債券などを発行して直接お金を集める直接金融と、金融機関が仲介する間接金融があることを理解させる
展開	金融についての理解を深めるために、 会計情報 の提供や活用と意義について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ■「『会計情報』の活用と意義について考えよう」 教材① 会計情報の提供と活用 • 教材①を活用し、教科書や資料集などを参考に空欄①～⑨に当てはまる語句を考える • 考えた解答をグループで発表し合う 教材② 会計情報の提供の必要性 ●発問：「会計情報の提供が必要な理由を考えよう」 (解答例：企業の健全性を表すため、企業が業績を示すため) • 考えた内容をグループで発表し合う 	<ul style="list-style-type: none"> • 教材①は金融についての理解を深めるための資料であることを伝えながら、教科書などの教材を活用させ、空欄①～⑨に当てはまる語句を考えさせる ⇒解答を示しながら解説を行う • 教材②を活用し、空欄①～⑥の解答を伝えながら、会計情報の提供が、直接金融が公正に実施されるために欠かせないことを理解させる
まとめ	本時を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ■「本時の学習を振り返ろう」 • 金融の仕組みや働きについて学習したことを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> • 金融の仕組みや働きについて、効率と公正、分業と交換などの見方・考え方を働かせて学習したことを確認させる